

「近代における女性を中心とした「移動／異動」の力学とその表象」報告会

日程：2017年3月4日（土曜日）

時間：14時～17時頃

場所：大阪大学文学研究科中庭会議室



14:00～14:05 開会の挨拶 小橋玲治（研究代表者）

第一部 帝国の女性教育者たちの移動と、「移動」の変質／「異動」の余波

14:05～14:25 小橋玲治（大阪大学文学研究科助教）

「安井てつの海外経験とそのネットワーク形成」

14:25～14:45 橋本順光（大阪大学文学研究科准教授）

「日英の美術教育におけるE・P・ヒュースの影響とハーンの日本美術論」

14:45～15:05 森本慶太（大阪大学文学研究科助教）

「戦間期ヨーロッパにおける移動規制の強化と「国民的」余暇の普及
—スイスの事例を中心に—」

15:05～15:20 ディスカッション 林葉子

（大阪大学男女協働推進センター特任講師）



第二部 個人としての女性の移動と、自己認識の鏡としての小説

15:30～15:50 堀内真由美（愛知教育大学准教授）

「20世紀前半クリオール女性の移動と自己認識の変化
—ジーン・リースとフィリス・オーフリーを例として—」

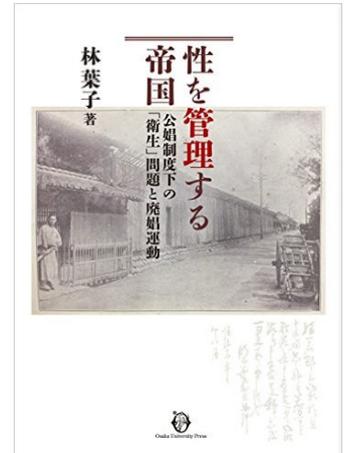
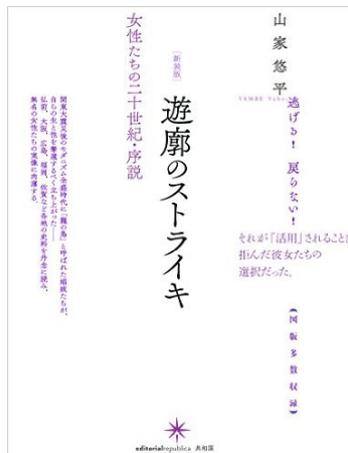
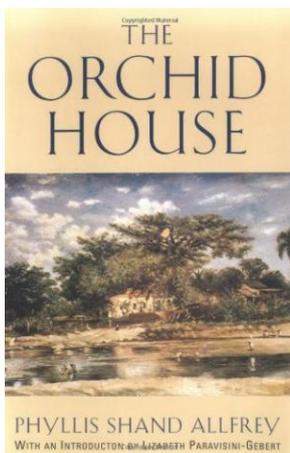
15:50～16:10 山家悠平（大手前大学非常勤）

「遊廓のなかで「読む」—1920年代後半の松村喬子の足跡を中心に—」

16:10～16:25 ディスカッション 林葉子

質疑応答

閉会の辞 小橋玲治



このシンポジウムは、2016年度大阪大学文学研究科共同研究費（研究代表者：小橋玲治）の成果報告会であり、基盤研究(C)「国際的娼妓運動がとらえた帝国日本の人身売買—東アジアにおける位置づけの検討」(研究代表者：林葉子)との共催で開催いたします。申し込みは不要です。ご来聴歓迎いたします。

お問い合わせ先：小橋玲治 kohashi@let.osaka-u.ac.jp